

井上さちこ通信

みなさまと一緒に歩みます 2025 (令和7) 新春号 / 討議資料

井上さちこ応援団 : 廿日市市福面 3-14-14

Eメール:luckey@network.email.ne.jp HP <https://www.inoue-sachiko.com/>



9年前から毎週月曜日に阿品台交差点で、挨拶運動をしています。

2024年10月宮島口東に木造2階建て有料老人ホーム完成

2021(令和3)年12月に地域の方たちが宮島ニュータウンの浄化槽跡地に、「高齢者施設を誘致するよう」署名活動をされ、370世帯の署名をもって、区長と共に松本市長へ提出。廿日市市では初めて、土地使用に関する住民提案が認められました。井上さちこも、1区と住民の皆さんと一緒に活動しました。



宮島口東 旧宮島ニュータウン浄化槽



要望が実り、右奥に多目的ホールも併設されました



宮島ボートレース場前

1区の要望をもとに一般質問をし、JR 宮島口駅方面から青葉台に上がる「左折レーン」ができました。「本当に安全になりました。」という声を頂いています。



阿品台交差点(ふじタウン北入り口)
2024年1月、住民の方の要望と一緒に建設部長に届け、2024年10月に「左折レーン」ができました。宮島の観光シーズンに間に合い、交通渋滞緩和に役立ちました。



防災コンサルタント秦好子は井上さち子さんを激押しいたします

2024年元旦に、能登半島は地震に見舞われ、過去の被災地とは全く異なる惨い被災となりました。その後の豪雨災害と半年に2度も激甚被害に見舞われました。被災地は寒冷地で著しい高齢過疎地域社会。私は3月11日から道路の修復を待って現地支援に入りました。報道されている被害実態はほんの一部でしかありません。この状況下でも、地域が力を合わせて誰一人置きにしない活動をつづけた地域がありました。それは、住民の一人ひとりを思いやれるリーダーの居た地域であり、そのリーダーこそ地域の皆さんが信頼して1票を投じた議員でもあります。

私は東日本大震災を教訓に廿日市市で講演をさせて頂きました。

それから7年後の2021年に再び私は招かれて驚きました。私が提案した災害時に関連死をゼロにするための対策が、大野東市民センターの防災対策として完成していました。

日本ではここだけです。100人がシャワーを浴び、停電でも明かりが灯り、屋外では炊出しができる。電源は三重化されて、災害弱者の空調も可能です。

皆さん ぜひ見学してください。なぜ出来たのか？ 聞いて驚きました。既に市では予算化されていた市民センターが津波被害想定地域であることから、井上さち子議員が議会で質問を続けて高台移転と、持続可能な避難者対策を訴え続けて具体化されたと聞きました。

議員は市民の皆さんの声を聴く大きな耳を持ち、それを理解するしなやかな優しい心と、具体化するためのエネルギーを持つ人でなければなりません。

廿日市市は宮島を抱える観光地でもあり、市内には崖崩れ危険地域もあり、急傾斜地域は高齢者の移動にも課題を抱えています。井上さち子さんには、議員として汗を流して頂き、平時も災害時にも暮らし続けられるまちづくりに貢献して頂きたい。真に願っています。

青葉台土砂災害防止工事は 2018(平成30)年から 10年間の継続工事です !

地域の皆さんと一緒に活動しました



- 2015(平成 27)年 県が青葉台を土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定するため、住民説明会を開催。
- 2016(平成 28)年 3 月 地域住民の皆さんが、土砂災害警戒区域・特別警戒区域から、青葉台エリアを指定除外するよう、湯崎知事に 175 名の署名を提出。
- 2016(平成28)年 9 月 15 日 県は青葉台を土砂災害警戒区域・特別警戒区域に「指定」
*重大な問題 → ①「地質調査」はせずに指定
②情報開示請求に対して、「調査の写真・記録は保有していない」と回答
- 2016～現在までも、継続して、地域住民の皆さんが市や県に照会状送付などの活動を継続
- 2017(平成 29)年 5 月 市は「市道福面 23 号線」を避難道路の管理業務として、土砂災害防止工事を決定 !
- 2018(平成 30)年 土砂災害防止工事開始→工事期間は 2027 年度までの 10 年間
*工事内容→市道福面 23 号線の 440mを 1 年に 44mずつ工事
*5mの擁壁を作り、1.5mかさ上げ。 *写真は 2024(令和6)年6月16日のものです。